

令和3年 第4回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の学校行事について	<p>はじめに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の学校行事について申し上げます。</p> <p>国の緊急事態措置が9月30日で終了したことに伴い、延期していた修学旅行や体育祭などの学校行事については、感染防止対策を徹底するとともに、実施内容を工夫しながら、10月より実施しております。</p> <p>小中学校の修学旅行や宿泊学習については、健康観察の徹底やバスの増便など、旅行業者や宿泊先とも連携して感染防止対策を講じたうえで実施しており、中学校の体育祭や文化祭についても、学年を分散するなど実施内容を工夫し、感染防止対策を講じながら実施いたしました。</p> <p>引き続き感染状況を注視しながら、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき感染症対策を徹底するとともに、子どもたちの健康を守りながら教育活動を進めて参ります。</p>
通学路の安全確保について	<p>次に、通学路の安全確保について申し上げます。</p> <p>道路管理者や警察・校長会などを構成員とする恵庭市通学路安全推進会議委員と地元の地域町内会により、10月20日に通学路の合同点検を実施いたしました。今後は、点検結果を踏まえて関係機関や市の担当部局と対応策等について協議し、各学校へ周知することとしております。</p>
初心者のためのスマートフォン教室について	<p>次に、初心者のためのスマートフォン教室について申し上げます。</p> <p>今や日常生活に欠かすことの出来ないデジタル機器となりつつあるスマートフォンではありますが、まだまだ知らないことやわからないことが多いことから、公民館事業として「初心者のためのスマートフォン教室」を10月13日から15日までの3日間で計6回開催し、高齢者を中心</p>

に延べ51人の市民が参加され、講師の方から実際にスマートフォンを手に取り、基本的な操作方法からアプリの種類、使い方などを学びました。

終了後に実施したアンケート結果は概ね好評であり、「また受講したい」という声が多数寄せられましたことから、今後もこのように身近なデジタル社会に向き合う社会教育について推進して参ります。

恵庭子ども塾について

次に、恵庭子ども塾について申し上げます。

北海道文教大学及び市内の若手農業者による恵庭ルーキーズカンパニーとの共催事業であります「えにわ大好き！食の体験ランド」を10月23日に開催いたしました。

参加者には、調理体験に使用する食材を前日に配布し、当日は参加した6組の児童のそれぞれの自宅と会場であります文教大学の調理実習室を、通信アプリを使用してオンラインで繋げ、文教大学生から中継で恵庭産のブロッコリーを使ったパスタやサラダの作り方を学び、出来上がった料理を児童と学生がそれぞれ試食しました。また、食材を提供していただいた農場について、事前に撮影した動画で参加者に紹介をするなど、オンラインを活用した体験活動の取り組みを行いました。

今後も従来の方にとらわれない事業展開について検討して参ります。

文化功労者等表彰について

次に、文化功労者等の表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・青少年表彰につきましては、11月3日に市民会館において、スポーツ功労者も含めた合同表彰式を実施し、文化功労者に4個人、青少年表彰に1個人1団体の方々を顕彰させていただきました。

読書活動の推進に
ついて

次に、読書活動の推進について申し上げます。

図書館サービスの環境整備として、市立図書館恵庭分館において、8月に引き続き2回目の無人化実証実験を、10月11日から15日までの5日間実施し、83名の市民の方々に参加をいただきました。同時に実施しました図書館利用者アンケートのご意見などを参考に、今後更なる図書館サービスの充実を図って参ります。

また、第12回恵庭市小中学生調べる学習コンクールには、市内の児童生徒から357点の応募があり、11月7日に表彰式を行ったところであります。

次に、人とまちを育む読書推進事業として、11月13日に図書館開館24時を開催いたしました。この事業では、事前に整理券を配付する二部制で実施し、多くの市民に夜の図書館を楽しんでいただきました。

郷土資料館事業に
ついて

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、10月23日から12月19日まで企画展「北海道文教大学展～創設者鶴岡夫妻の足跡をたどる～」を開催しております。

次にアイヌ文化を保存・継承・振興するとともに、アイヌ民族の歴史や文化に対する理解を深めていただく事業として、市内の中学生4名の参加による「アイヌ文化マスター育成事業」の全8回の内、3回目を、10月16日～17日に、アイヌ文化が根付き体験メニューの豊富な阿寒湖に宿泊し、アイヌ文化について様々な体験学習を受けてきたところであります。

埋蔵文化財関連事
業について

次に埋蔵文化財関連事業について申し上げます。

埋蔵文化財の保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、10月2日に「道央部の遺跡」をテーマとした、「カリンバ土曜講座」の全3回の内、2回目を、11月14日には「5世紀後半と8世紀の“恵

庭”への移住者」をテーマとした「カリンバ講演会」を開催いたしました。

また、埋蔵文化財の保護を目的に、5月24日から10月22日まで、恵南の「ユカンボシE1遺跡」において、個人住宅建設に伴う発掘調査を行い、縄文時代の土器・石器など多くの遺物が確認されました。今後、整理作業を行い、来年度中に発掘調査報告書を作成いたします。

今後も、引き続き、各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。